

館山市広報

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1,087番地 電話館山67,68,701番

昭和34年

10月15日

第91号

(毎月1回発行)

9月の人口動態	
人口	62,488人
男	29,769人
女	32,719人
世帯	13,863世帯
出生	66人(男41・女25)
死亡	36人(男16・女20)
婚姻	18件
離婚	4件
死	3件

総
男
女
世帯
出生
死亡
婚姻
離婚
死

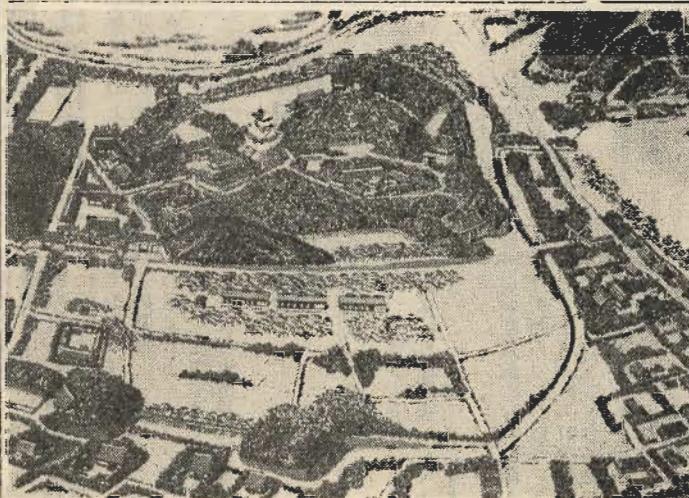
館山城の復興計画

期成会・軌道にのつて発足

一昨年から史実にもとづいた文献や資料の収集にあたつては、館山城の復興計画は、その後の史実考証も進み、そして急速に盛り上つてきた地元民の館山城復興に対する機運は更に一步飛躍して、去る二十五日市内関係者五十余名が集り、「館山城復興期成同盟会」の設立発起人会を開き、続いて開かれた総会では、演説一致してその実現の原動力となつて進むことを申し合せた。

この館山城(里見氏居城)の復興計画は、南房総国定公園の中心地に、郷土史と観光を結びつけた館山城を復興したらという、その資料の収集にあたつて来たのであります。が、里見滅亡後三百数十年の歳月と、この城取戻しにあたつては、城に火を放つたと伝えられ、當時をしのぶ資料が全く散失してしまつたので困難をきたしておきましたが、幸いに房総里見会の援助や郷土研究会の協力などによつて、史書古文書、民間伝承などが逐次明らかにされており、なほ、先般行なわれた館山城跡の発掘調査には、県史編纂調査員山岡俊明、市文化財審議委員上田勇次郎、同平島七万三氏ほか郷土研究員などの努力によつて次のような結果が判明さ

れました。以下山岡・上田両氏の調査報告書から写真は、当時の館山城とその附近の想像俯瞰図



(1) 千畳敷跡

城郭当時の生活面と考えられる黒土層から、一間間隔に捨石と考えられる水成岩が表面を削つて配

置されていたのが発見さ

だ焼瓦破片を含ん

だ煙灰層があつた。

◎出土遺物

現在の城山は、往事里見氏居城たりし頃の生活面(地表)を、深く埋没し

るといふが、その変化があつたと考えられる

予算敷跡の礫石からみ

て、およそ24坪ほどの建

物が城郭当時ここにあ

つた事が証明される。こ

れは古記録に記されてい

る資料として十分である

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

黒土層に古瓦若干が発見

された。

城郭當時と推定される

古瓦若干を出土

以上の発掘結果を総合す

ると

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

磧石(伊豆石)破片。
捨石・焼瓦
新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

黒土層に古瓦若干が発見

された。

城郭當時と推定される

古瓦若干を出土

以上の発掘結果を総合す

ると

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

小片を含むが、その下に

城郭生活面と考えられる

磧石(伊豆石)破片。

捨石・焼瓦

新御殿跡

磧石

・

焼瓦

新御殿跡の古瓦の発見

表土より30~40cmは、崩

交通事故の原因

歩行者の不注意が大半

秋季全国交通安全運動が十月十六日から二十五日までの十日間にわたって行われます。

館山警察署管内の交通事故は、昨年一年間に人身事故（人を傷つけたもの）だけで六十五件あり、内死亡二名、負傷二〇二名にござります。本年は九月末まで、すでに二三件も発生し、死者九名といふ被害を出しております。この内六才未満の幼児が二六名の多さを数えており、子供の交通事故が増加する傾向にあります。

この運動の期間中、特に次のようなことについてご協力をしていただきたいことになつておられます。この運動の原因が、その50%以上歩行者の不注意からきておりますので、特に対面交通の励行、幼児の一人歩き道路の横断等には、市民皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

一、正しい歩行（歩行者は対面交通（人は右、車は左）

二、道路の横断左右を見てから（車の直前直後の横断をやめましょう）

三、自動車の運転は第一に安全を確めてから

（児童の通行はいたわりましよう）

（児童の通行はいたわりましよう）



水害作物は
乾燥を十分に

連日の降雨量に、かなり作物が被害を受けております。被害をうけた作物の手当は、なるべく早く適切に行つて少しでも被害を少なくしたいものです。

◎水浸しになつた作物は病害がおこりやすく、水稻では稻熱病、蔬菜では蔓割病などが発生しやすいから、四斗式ボルト一液を、水稻には銅水銀剤を十アルペル当たり三三四キロ散布するとよい効果があります。今後の回復の見込のない作物は取り片付けて、他の作物を作付ける準備をして下さい。

◎甘藷の貯蔵は、なるままでの収穫期となりましたが、貯蔵する方は

さつま芋の貯蔵期となりました

貯蔵する前に水銀剤（セレ

ン・ホウ酸・水銀粉剤）を

追肥をして下さい。又テ

ツブ剤やマラソン乳剤な

どを使って病害を防ぐこ

とが大切です。

水害作物は

乾燥を十分に

連日の降雨量に、かなり

作物が被害を受けており

ます。

被害をうけた作物の手当

は、なるべく早く適切に

行つて少しでも被害を少

なくしたいものです。

未満の児童が二六名の多さを数えており、子供の交通事故が増加する傾向にあります。

この運動の原因が、その50%以上歩行者の不注意からきておりますので、特に対面交通の励行、幼児の一人歩き道路の横断等には、市民皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

一、正しい歩行（歩行者は対面交通（人は右、車は左）

二、道路の横断左右を見てから（車の直前直後の横断をやめましょう）

三、自動車の運転は第一に安全を確めてから

（児童の通行はいたわりましよう）

（児童の通行はいたわりましよう）